



社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地
TEL：0772-22-0320 ホームページ：<http://www.hokuseikai.or.jp/>
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

栗田中学校生 福祉の仕事体験



9月26日、『次世代の担い手育成事業』の一環で栗田中学校1年生28名が、地域で福祉を学ぶ体験として天橋の郷を訪れました。



実践に入る前に5日間に分けて『少子高齢化社会と福祉サービスについて』『認知症について』『老人ホームの役割について』を教室で学んだ後、具体的な福祉の仕事体験しました。

事前学習では、認知症を分かりやすく学ぶため、寸劇を通して『自分のものを人に盗られる妄想をしてしまう』という認知症のひとつの症状を知り、『どのように接することがその人にとって一番いいのか?』を考えました。

一日体験学習では、一緒に散歩に出かけたり、おやつ作りをしたり、食事の



準備やベッドのシーツを交換したりと、ご利用者をサポートする場面に実際に触れ、「福祉の仕事に関心を

持った」「福祉の仕事のやりがいを感じた」「人に喜んでもらう喜びに触れられた」と、初めての経験に生徒さんも感動が大きかったようです。ご利用者も「ひ孫に世話になったようで嬉しかった」と話していました。

先日の栗田中学校の文化祭では、生徒さんが今回の学習を、福祉とは「ふく・しあわせに」とまとめ、発表されました。初めての取り組みでしたが、ご利用者も生徒さんも実にいきいきと、笑顔が輝く時間を持つことが出来ました。

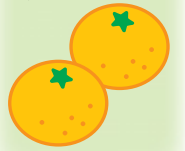


多くの人とのふれあいや楽しさを共感できる、そんな人との繋がりをこれからも大切にして地域の皆様との交流を深め、頼りになる福祉施設を目指します。

(事務員・水谷 暁)

みかん狩り

〜与謝の園へご利用者ら、
由良から天橋の郷へ〜



みなさん思い思いに好みのみかんを収穫しました

山の緑も赤や黄色に染まり始めた11月8日、与謝の園の恒例行事・みかん狩り遠足に由良まで行って来ました。今年のご利用者11人とご家族1人に参加して頂きました。

与謝の園を3台の車で出発し、30分かけて由良まで到着するや否や園内に広がる鈴なりのみかんを前に「どれがいいかなあ?」「まだ青いかな?」と品定め。入園の手続きをしてみかん狩りスタート!美味しそう

なみかんを求めて広い園内を歩き、もぎたてのみかんを口いっぱい頬張ります。ビタミンCをたくさん摂って皆さんの笑顔はいつも以上に艶やかでした。

思う存分食べた後は、お土産の分を籠いっぱい詰めて込み、「家族や他の人へあげるんだ」と、帰ってからの楽しみにしていました。

40分と短い滞在でしたが、皆さん大満足の表情。車に乗り込み帰路へ…ではなく、ここから本日第2のイベント。天橋の郷にお邪魔してお弁当を頂きます。到着すると施設長がお出迎え。テーブルには歓迎の言葉をしたためた綺麗なランチョンマットが。思わぬ「お・も・て・な・し」に一同感激。

調理さんの手作り弁当を食べた後は、腹ごなしの体操を。ご参加頂いた藤井さ

んの娘さんにご指導頂き身体を動かしました。身体もほぐれて職員一同とても勉強になりました。

秋晴れのこの日、ホールに隣接する広場には四季桜が花を咲かせていて、絶好のタイミングで見ることが出来ました。寒い冬は外出の機会が少なくなりますが、ご飯をしっかりと食べて健康を維持しつつ、暖かくなる春を待ちましょう。

(相談員・小田 晋)

「なぎさ苑家族会」

〜紅葉ドライブ〜



なぎさ苑では、年に2回家族会を実施しており、これまで介護教室や試食会、ご家族同士の交流会などを行ってきました。実施後のアンケートで「入苑している利用者と一緒に参加できる企画をしてほしい」との要望がありましたので、平成25年度の第2回家族会は「紅葉ドライブ」を企画しました。行先は大内峠一字観公園!



眼下に広がる絶景

当日の11月24日(日)は天候にも恵まれ、絶好の紅葉狩り日和となりました。到着すると現地を待っておられたご家族と合流。一緒に記念撮影をし、まさしく天まで続く橋のように天橋立が横一文字に眺められる景色と、紅葉し色づく山々を眺めながらのコーヒータイム!ご利用者9人にご家族17人と職員7人の総勢33人が澄んだ空気のなか、にぎやかに歓談しました。参加したご利用者も「ちよっ

とした旅行気分だった」「おいしいコーヒーが頂けた」と、とても満足されていたようです。

『なぎさ苑は笑顔を大切にします。』これは、なぎさ苑のケア方針のひとつです。普段ご家族だけではなかなか外出しづらい方やわざわざ京都市内から参加されたご家族などもおられ、今回参加されたご利用者・ご家族・職員、みんな笑顔で楽しいひとときを一緒に過ごすことができました。これからも、皆さんが笑顔になれるような企画を考えていきたいと思えます。

(相談員・松村博志)



木漏れ日も秋模様

褥瘡予防の取り組み

なぎさ苑 褥瘡予防対策委員会

看護師 岡田 鉄弥



一般的に、寝たきりになると褥瘡が出来やすいと思われがちです。巷にあふれる褥瘡予防の教科書の多くも、病院や在宅など一日のほとんどをベッドの上で過ごす方を対象とした視点で書かれているように思えます。しかし高齢者施設は生活の場であることから、日中多くの時間をベッドから離れて過ごす傾向にあります。また、その中でも車椅子を使用している割合は高いでしょう。

なぎさ苑の褥瘡予防対策委員会でも、活動を始めたころは寝たきりの方を対象にした予防対策を一生懸命講じていました。当然寝たきりの方の褥瘡は減っていきましたが、褥瘡発生リスクのあまり高くない方の褥瘡がなぜか減らないという問題に直面していました。

「一般的に、寝たきりになると褥瘡が出来やすいと思われがちです。巷にあふれる褥瘡予防の教科書の多くも、病院や在宅など一日のほとんどをベッドの上で過ごす方を対象とした視点で書かれているように思えます。しかし高齢者施設は生活の場であることから、日中多くの時間をベッドから離れて過ごす傾向にあります。また、その中でも車椅子を使用している割合は高いでしょう。」

そこでケアにあたる職員が、摩擦とずれる力（剪断力）を上手に逃がし、予防に繋げることができるよう対策を検討しました。具体的には、スライドボード・スライディングシート・介助グローブなどの道具を活用し、移動の際に対象者を引きずらずに滑らすことで摩擦を減らす取り組みを行いました。またスーパート

ランスなど最新の移動介助技術の研修を行い、力任せの介護からボディメカニクスを意識した効率的で科学的な介助技術の習得と提供に努めました。

これらの取り組みを行った結果、委員会活動開始前には2%台だった褥瘡発生率が、今では1%を切る良好な結果が続いています。褥瘡は道具である程度防ぐことができますが、より大切なことは、知識・技術

の前に、小さな事に気づく気持ちではないかと思えます。これからも気づく気持ちを大切に更なる委員会の活動に繋げていきたいと思えます。

～感謝の気持ちをこめて～



たくさんの方々にご協力いただいています

誕生日を感謝の気持ちをこめて楽しくお祝いしたい」と思い、与謝の園では毎月恒例のお楽しみ会（誕生会）に工夫を凝らしています。

今年度はご利用者のご家族をお招きして、お楽しみ会（誕生会）に工夫を凝らしています。

「誕生日を感謝の気持ちをこめて楽しくお祝いしたい」と思い、与謝の園では毎月恒例のお楽しみ会（誕生会）に工夫を凝らしています。



感謝を込めて手渡し

「誕生日を感謝の気持ちをこめて楽しくお祝いしたい」と思い、与謝の園では毎月恒例のお楽しみ会（誕生会）に工夫を凝らしています。



介護の日

『介護ふれ愛広場』



毎日できる手軽な運動を紹介

11月10日、天橋の郷で『介護ふれ愛広場』を開催しました。自宅で介護されている方や今後介護が必要になったときのためにと参加される方、また介護の仕事を目指しておられる方などたくさんの方に参加して頂きました。

玄関を入ると、まずは『天橋の郷福祉人』と題した職員の写真がお出迎え。ご利用者の作品もたくさん展示して見て頂きました。

参加者の『知りたいこと』に答えるため、介護のプロが講座やアンチエイジングエクササイズを企画しました。現役介護福祉士から介護のちょっとしたコツを紹介

介する、実践『知って得！プロの技』や『知ってるよ！で知らないオムツの正しい使い方がわかる排泄ケア初級講座』を開講。各種体験コーナーでは配食サービス『虹色ほのぼの便』で提供している食事が試食出来たり、手軽で効果の高い健康器具などが体験出来たりと、皆さんそれぞれに知りたい講座、体験コーナーに参加されていました。

毎回好評のエクササイズは「ストレッチ解消になる」と皆さん真剣な表情ながら楽しそうに参加されていました。『知って得！プロの技』では、男性介護福祉士が『力任せにしない介護方法』を、新しい介護機器（電動リフト等）を使って実践しましたが、「落ちへんか？」と心配そうだった方も、使い方を実際に見て「今はええもんがあるなあ。大きい人はこんなんがあつたら楽にできるなあ」と感心して

いました。試食体験では「この配食サービスの食事は、年寄りの口に合うおかずばかりで楽しみになるなあ」と笑顔で食べて頂きました。

ご利用者の作品展示では、書道や毛糸を使った手芸作品・やさしい感じのする絵やちりめんの小物が並べられました。「どれもステキやなあ」と感心され、色とりどりのちりめんの作品をどれにしようか悩みながら手に取り、沢山の方がお買い求めになっていました。参加者からは「楽しかったから来年も参加したい」と伺いました。ありがとうございました。

(事務員・水谷 暁)



色々な新しい介護方法に感嘆の声

きょうと福祉人材育成事業所を宣言しました ～ 北星会全事業所で～

「きょうと福祉人材育成認証制度」は、近年福祉業界の人材不足が問題となっているなか、この業界が安心して働けることを説明し、就職に関する情報収集の手段の一つとして活用してもらうため京都府が創設した制度で、高齢化社会を支える福祉業界へ、学生をはじめとした若者が興味を持ち、就職につなげて行くため、人材の育成や定着を積極的に取り組んでいる福祉サービス事業所を認証する制度です。

制度の仕組みとしては、人材育成に積極的に取り組む意思のある事業所を『人材育成宣言事業所』として募集し、宣言した事業所は一定期間専門家のアドバイスを受けながら、職員の採用・育成・キャリアパス・職場環境等を整備し、基準をクリアすると京都府から認証されるものです。

今回、社会福祉法人北星会が運営する全事業所で『福祉人材育成宣言』を行い、京都府に届出・受理されました。

今後はより優秀な人材が育成できるよう、規則や仕組みを整備しつつ、認証事業所を目指していく予定です。

「きょうと福祉人材育成認証制度」については、京都福祉情報サイト kyoto294.net (<http://kyoto294.net/welfare/seido/>) に詳しく掲載されていますのでご覧ください。



京都府のパフレット